



さよならケンドール先生

Goodbye and thank you very much

平成22年10月にカナダから外国語指導助手として、羽幌に初めて来られたバラス・ケンドールさんが、このたび、7月をもって契約期間満了となり羽幌を離れることになりました。

今回は、羽幌での生活を振り返ってもらいながらインタビューをさせてもらいましたので紹介します。

羽幌の生活を間もなく終えようとしています。今の率直な気持ちを教えてください。

「今の気持ちはちょっとさびしい。羽幌は懐かしく感じる。みんなに感謝している町民の人に。これからの気持ちは心配になっている。」

3年間羽幌に住んで生活をされましたが、羽幌の町(人)はどうでしたか？

「町は静かで住みやすい。ゆつくりできる。町の人は優しくて面倒みがいい。」

幼稚園から高校生まで幅広く羽幌の子もたちとふれあう機会が多かったと思いますがその印象はどうでしたか？

「子どもたちはいろんなパーソナリティ(性格・人格)があります。いつも、子どもに会えるとうれしく、元気になる。これからさびしくなります。」



羽幌に来て食べられるようになったものとか好きになったものはありますか？

「3つあります。1つ目はメロン。今まで食べたことあるけど北海道のは初めてでした。とっても美味しい。2つ目は納豆。最初は大嫌

いだった。でも今はちょっと食べられるようになった。3つ目はジンギスカン。北海道に来るまで食べたことがない。ジンギスカンはすぐ気に入った。」

羽幌で印象に残っていること、思い出は何ですか？

「印象に残っているというかびっくりしたことは、一年目の冬、大雪で100センチ超えたのがそれが人生の初めてだった。僕の出身地ではとても大雪でも30センチからか50センチ位で羽幌の大雪はびっくりしました。駐車場で車がはまって、近所のみなさんが押ししてくれたのもとても思い出になった。あとは、羽幌の



おみこし、それは結構めずらしく日本しかないしカナダ人にとって本当にめずらしい。とても楽しかった。」

これからの予定と夢を教えてください。

「予定は具体的には決まっていません。夢は、今まで、カナダと日本にしか住んだことがないから、いろんなところ(国)へ行きたい。そして住んでみたい。」

最後に羽幌のみなさんへメッセージをお願いします。

「羽幌町に迎えてくれてありがとうございました。大変お世話になりました。また遊びに来るからその時によろしくお願いします。」

バラス・ケンドールさんは、契約期間満了後、国内を旅行されて8月17日に羽幌を立つ予定です。母国に戻られてからの活躍をお祈りします。本当にありがとうございました。